

## 報告 金沢支部総会に参加して

2023年4月20日に金沢支部総会が開催されました。新型コロナウイルスに翻弄されていた期間中は、笠間支部長が必要に応じてメールを送って下さってはいったものの、対面での会は3年ぶり、6名の会員が集まりました。

冒頭での支部長のあいさつに続いて、会計報告及び活動報告がなされました。毎年秋に開催される国際交流まつりへの参加や、本部での事業である国内奨学生への応募の件などです。また、金沢支部が独自に長年続けてきた活動の一つとして、カシミールへの女学生に対する奨学金の給付事業があり、この件に関しても、担当の会員によるメールを通じて報告済みでしたが、あらためて言及がなされました。

次いで、今年度の活動計画として、講演会に関する案が提出されました。ご家族が経営されている小児科クリニックで、病児の預かり保育に長年尽力してこられた会員の方にお話を伺おうというものです。保育園に子どもを預けて働く女性の活躍を阻むものの一つに、子どもが病気になった時に預けるところが少ないという現状があります。子育て中の女性のような悩みや病児保育の実情を知ることが、今まさに議論が高まっている少子化対策について考える上でも大いに必要なことであるとして、講演会への大きな期待が寄せられました。

総会の会場は、江戸時代の武家屋敷が残るエリアに位置している「四季のテーブル」というお店でしたが、話している間にも、次々と美しい加賀料理が並べられ、やがて、お食事を頂きながらの歓談となりました。家庭の味を大切に作られるお料理は、海外から訪れる方にも喜ばれているようで、私たちも、そんな優しい味を楽しみながら、互いの近況を語り合ったり、当日ご欠席だった会員の方々の情報も交換したりしました。全面ガラス張りの窓の外に目をやると、伸びだしたばかりの若葉に飾られた美しい建物の佇まいや、和服でそぞろ歩く観光客の姿も目に入り、そこから、金沢の伝統文化のことやその生かし方の話になったり、つい最近行われた選挙のことから、政治の話や、防災の話に発展したり、話題が尽きることもないひとときでした。予定の2時間が過ぎて、名残を惜しみながら、散会しました。

木梨 由利